

中村保・ヒマラヤの東 写真館-3

2009年秋 念青唐古拉山脈 東部周回 踏査報告



Nenang(6870m)北面

中村保・ヒマラヤの東 写真館-3

1990年3月の玉龍雪山見参から20年、中村保氏は今やチベットの山岳地帯を自在に羽ばたく翼を得たようだ。通常であれば非常な困難を伴う筈のルートが彼の前には軽々と道を開く。実際には様々な困難があるのだが、青空が輝く写真や、自信に満ちたタッチの報告文からする限りそうは思えない。

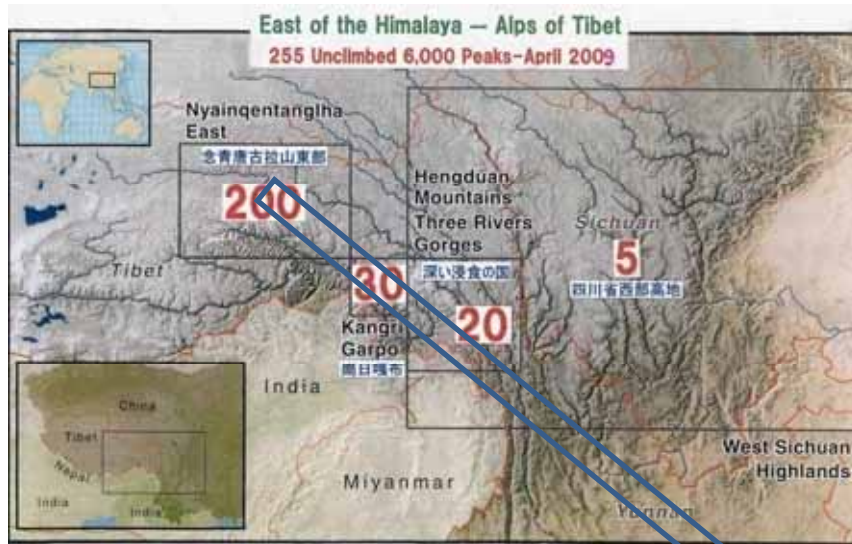
とりわけバスクメダル受賞と言う世界的評価を得て、近年の踏査はその範囲、深さ、奇少性において目を見張るものがある。2007年には深い浸蝕の国のツァワロン地区に分け入り、2008年には同地域のさらに奥へ向かい、動日夏波(Dungri Garpo)西面の谷に入った。その踏査行の概要は「ヒマラヤの東写真館 1, 2」としてこのHPで紹介している。

そして2009年の秋、中村氏はラサの北から東に向かって750kmにわたって続く長大な山脈「念青唐古拉(Nyanqentanglha Shan)」の東部450kmをほぼぐるりと一周した。既に2002年4月に同じような周回がなされているが格段に深い踏査となっている。この年中国は建国60周年を迎え、祝賀行事の円滑な遂行のためチベットでは外国人旅行者は川蔵公路などの幹線道路の通行しか認められなかった。にもかかわらず中村氏一行はほぼ所期の目的を果たして、1ヶ月強、5000KMにおよぶ踏査を終えたのである。本人はそれを強運と表しているが、それこそは過去20年にわたる実績と人脈のおかげだろう。1990年以来折にふれガイド役を務めている四川大地探検会社の社長張継躍氏(今回コネ・カンリの麓で落馬して大怪我をした)などは、その弟少宏氏と共に得がたい仲間であり、中村氏のチベットをはばたく翼の一翼を担ってくれている。

今回は「ヒマラヤの東 3」として氏の写真により念青唐古拉山脈東部のハイライトを拝見しよう。踏査行の詳細は針葉樹会報に掲載の予定であり、それと合わせてご覧いただければ、いながらにしてチベット最奥の山々に親しく見参できるであろう。近い将来、このシリーズに触発されて会員の中から該地を訪れる人が出ることを期待したい(既にいそうである。金子)。

中村保・ヒマラヤの東 写真館-3

- 踏査地域(「曲」は川を意味する)と期間(10.12 - 11.17)
- - 念青唐古拉山東部(10.17-23):易貢蔵布の支流・尼屋(Niwu)曲 - 艾嘎貢氷河(Aigagong)とその周辺
- - 念青唐古拉山東部(10.31-11.5):易貢蔵布(Yigong Tsangpo)の支流・夏曲(Xia Chu)
- - 金嶺郷のジャンボ措(湖)とマライポ氷河
- - 崗日嘎布中央部(11.6-8):帕隆蔵布の支流・朗秋蔵布の源頭
- - 念青唐古拉山東部(11.9-11):帕隆蔵布の支流・波堆蔵布の玉仁の北側
-
- メンバー
- 日本人 - 横断山脈研究会:中村 保(74)、永井 剛(77)、新谷 忠男(65)
- 中国人 - 四川大地探検会社社長:張継躍(45)
- 現地スタッフ - ガイド:アワン(チベット族 31)
- 運転手:シュエ(漢チベット族 46)
- 運転手:ルブ(チベット族 33)
- コック:ダワ(チベット族 37)



念青唐古拉山脈東部沿いを横断する道は4つ。その内易貢蔵布沿いのゴルジュ帯は1935年にキングドンワードが通過して以来外国人は誰も通っていない。



アプロ チ - 1:

10月17日 快晴 8 ラサ - 当雄(Damsung・4260m) - 那曲(Nagchu・4540m) (青蔵公路)



ヤクの放牧



青蔵公路と並走する青蔵鉄道



当雄の町のメインストリートから
見上げる念青唐古拉山(7162m)
東面



桑丹康桑峰(Samdain Kangsang・6590m)

アプロチ - 2:

10月18日 快晴 0 那曲 - アヤ・ラ(5150m) - 嘉黎(Lhari・4500m)



嘉黎高原の村

5820m峰



6066m峰

山々を見はるかす
タツェのラマ寺院



禁断の易貢蔵布 (Yigong Tsango) - 1

垂涎の尼屋 (Niwu 忠玉郷・3400m)

10月19日 晴 0 嘉黎から易貢蔵布上流部川を左岸ぞいに尼屋へ



チベットのマッターホルン・木納却我 (Kajagio・6447)・ミックファウラーが初登攀



機上より南面

易貢蔵布急流

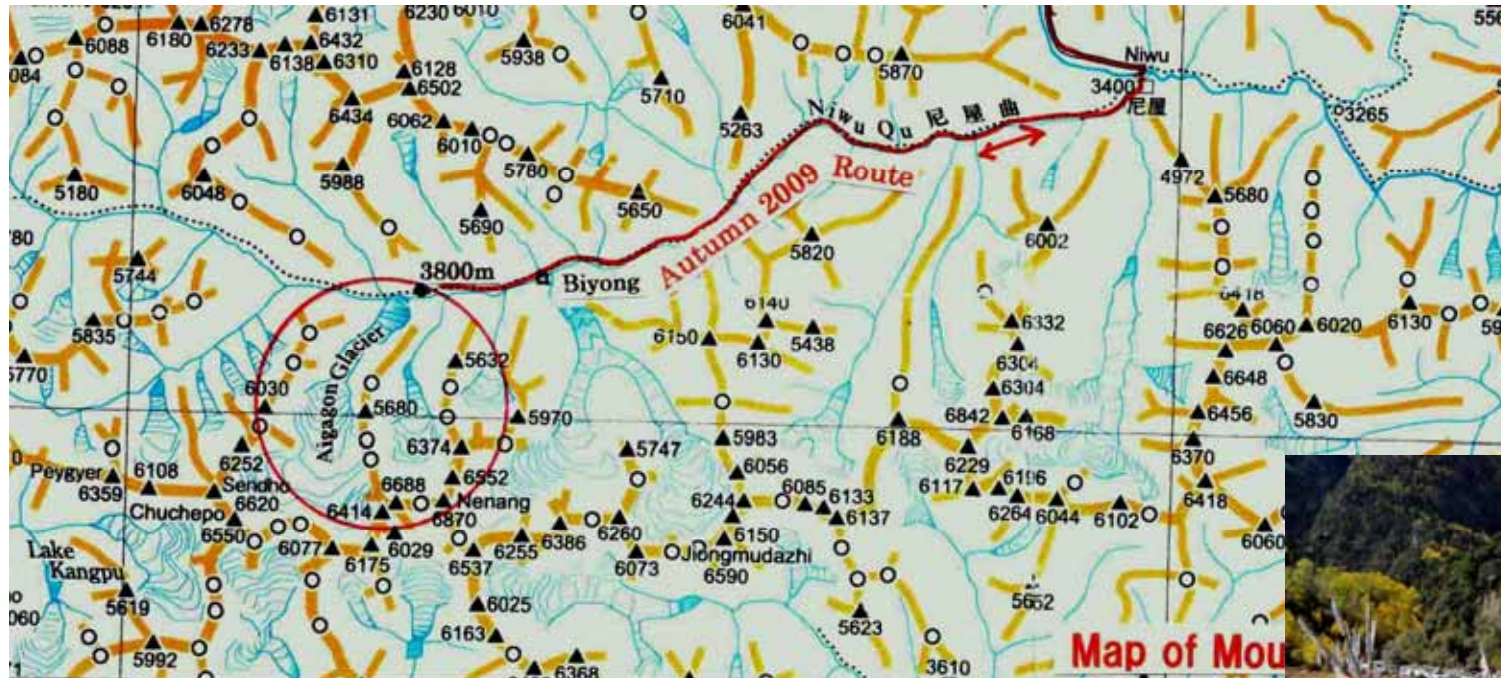
易貢蔵布は東チベットで最も美しい川である。トルコ石色の清流が深いゴルジュを荒れ狂うように下り、逆巻く急流をつくり、ときに緩やかな流れに変わって瀬をつくる。



禁断の易貢蔵布 (Yigong Tsango) - 2

— 垂涎の尼屋 (Niwu 忠玉郷・3400m)

- 10月20日 小雨後晴 (11台のモーターバイクでのキャラバンで尼屋曲の谷に入る)
尼屋 ビヨン村3730m キャンプサイト3770m(アイガゴン氷河の舌端手前)
10月21日 曇時々薄日 1 アイガゴン氷河下部の全容の見える地点4230mまで登る
10月22日 霧後晴 0 (モーターバイクで)キャンプサイト - ビヨン村 - 尼屋
10月23日 晴 6 尼屋 - 嘉黎 10月24日 晴 - 5 嘉黎 - 那曲



尼屋曲へ入るべく馬のキャラバン編成の交渉をアワンに命じたが、驚いたことに馬ではなくモーターバイクでなければ行かないと村人が言っているとの報告があった。 辺境のどこでも見られる現象で、モーターバイクが馬にとって替わっている。



禁断の易貢蔵布 (Yigong Tsango) - 3



5747m峰



6260m峰



ピヨン村と氷河末端ならびに6030峰

禁断の易貢蔵布 (Yigong Tsango) 4

アイガゴン氷河 (Aigagong)



アイガゴン氷河は念青唐古拉山東部の氷河の中で最もユニークである。波堆蔵布の則普氷河北のジャロン氷河と同じように、下部はクレバスと大きなセラックが流れを荒々しく分断し氷瀑状となって下り、舌端が狭い谷の川に到達している。

上部は緩やかな雪原となってネナンの西に連なるピークに囲まれているのが成都・ラサ間の機上から見える。10月21日、キャンプを出発してラチン・ラに通じるトレイルを尼屋曲の左岸沿いに登って行く。キングドンワードの時代より道はよく整備されている。4320mの地点がアイガゴン氷河下部の格好の展望台であった。

禁断の易貢蔵布 (Yigong Tsango)-5



ネナン北面 (Nenang.6870m)



南面 (2002.10)

夢叶う - 1

-シャルグン・ラから金嶺郷ジャンボ措(湖)へ

10月25日 晴 - 7 那曲 - 達木寺
(鳥葬場の髑髏壁) - 比如 3010m 川蔵北路



怒江

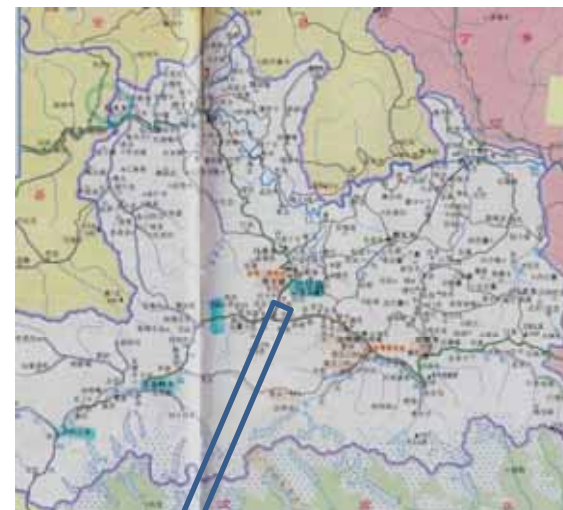


達木寺髑髏壁

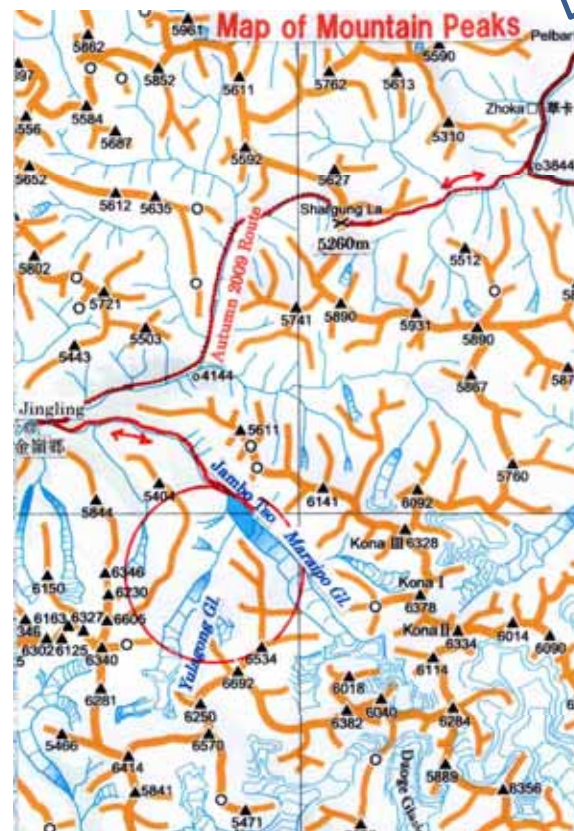
夢叶う-2

-シャルグン・ラから金嶺郷
ジャンボ措(湖)へ

10月26日 晴 - 2 比如 - シェル・ラ
5030m - 白嘎4080m - 尼木3830m
10月27日 晴後小雪後曇 - 2 尼木 -
カレ・ラ5000m - 辺覇3650m
10月28日 晴 - 9 辺覇 - シアルグン・ラ
5260m - 金嶺郷3740m
10月29日 晴 0 馬でマライポ氷河を望
むジャンボ湖右岸の4070m地点を往復
10月30日 晴時々曇 - 1 金嶺郷 -
シアルグン・ラ - 辺覇



辺覇県



夢叶う-3

- Shargung La (シャルグン・ラ) から金嶺郷 (Jingling) へ

峠へのつづら折り



峠からの山々





峠からの山々

6027m

Richen(5611m)



夢叶う-4

-Shargung La (シャルグン・ラ・5260m) から金嶺郷 (Jingling) へ

金嶺の谷



塩をねだるヤク



夢叶う-5

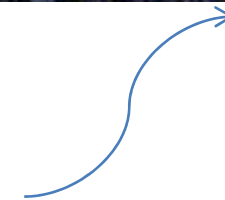
-Shargung La (シャルグン・ラ・5260m) から金嶺郷 (Jingling) へ



金嶺郷より
Jonlamopo
6605m



東面



西と北面

東と北面

夢叶う-6

-Shargung La(シャルグン・ラ・5260m)から金嶺郷(Jingling)へ



機上よりコナ ~ 峰とジャンボ措(赤矢印の先)

氷河左岸の6382m峰

氷河湖の先にマライボ河を見る

同6018m峰



夢叶う-7

-Shargung La(シャルグン・ラ・5260m)から金嶺郷(Jingling)へ



Yulagong GLの源頭 6414峰



同 6550m峰

夢叶う-8

-Shargung La(シャルグン・ラ・5260m)から金嶺郷(Jingling)へ

Kona ・6378m(西北のジャンボ措より)



Kona (東の普玉曲より)



北から南へ・辺覇から波蜜へ6日間の移動 - 1

10月31日 晴 - 5 辺覇(旧) - 普玉二村往復 (Kona峰望遠) - 拉孜(Lhatsa)-巴利拉(バリ・ラ
4790m) - 碩督 (Shopand・3550m) - 洛隆(Lhorong・3680m)

11月 1日 曇 3 洛隆 - デガ・ラ4460m - サルウィン川(怒江)の辺・馬利3150m



拉孜と碩督 間の
村と寺院



怒江を渡る橋(馬利の畔)

北から南へ・辺覇から波蜜へ6日間の移動 - 2

11月2日 晴 0 馬利 - サダ・ラ4310m - モボ・ラ4750m - 瀾滄江(メコン川) - 昌都(Qamdo・3250m)



北から南へ・辺覇から波蜜へ6日間の移動 - 3

11月 4日 晴 0 昌都 - 空港4320m - バンダ4080m - (以後ここからラサまで幹線道路は川蔵公路を辿る) - 二・ラ4658m - 怒江橋2800m - 八宿3320m



昌都近くの瀾滄江 = メコン河



昌都空港と近傍のラマ寺



北から南へ・辺覇から波蜜へ6日間の移動 - 4

11月5日 晴 0 八宿(Baxoi) - 安欠拉(アンジ・ラ・4410m) - 然烏(Rawu・3890m) - 松宗(3070m) - 波蜜(Bomi・2740m)



6005m峰

念青唐古拉山脈東端の6042峰
八宿と然烏の間の安欠拉(アンジ・ラ・4410m)峠より



幻のKone Kangri(コネ・カンリ・6347m)を求めて - 1

11月6日 曇後晴 - 1 波蜜 - 朗秋(Dong Chu)村 - C1 3340m 馬で朗秋蔵布源頭に向う



朗秋村全貌



朗秋村は、谷の正面にカンリ・カルポの秀峰と懸垂氷河、鮮やかな緑の畠、山腹の紅葉、民家の赤い屋根の構図と色彩がよく調和してシャングリラを想像させる。村人もフレンドリーである。この村付近からデルポラ三山の北面が真じかに見える。

幻のKone Kangri(コネ・カンリ・6347m)を求めて - 2

11月7日 晴後曇 - 7 C1 - C2 3490m - ユムツォ氷河展望3650m - C2

11月8日 晴後曇後晴 - 1 C2 - 朗秋村 (川蔵公路) - 波蜜



踏査地域 の目的は崗日嘎布西部のコネ・カンリ6347mの探査だった。

1999年秋に学習院隊が東側のゴネ氷河から偵察に入ったがこの山を見ることはできなかった。

川蔵公路からは手前のデルポラ三山(西からI峰6343m、II峰6065m、III峰6140m)に遮られて見えない。

2006年に私はゴネ氷河への接近を試みたが麓の村落で荷駄の調達ができず諦めた。

2009年の計画は西側の谷、帕隆蔵布支流の朗秋蔵布をターゲットにした。この谷については、旧ソ連の地図にはトレイルの記載はなく何の情報もなかった。

幻のKone Kangri(コネ・カンリ・6347m)を求めて - 3 前衛のDelupola 3山



Delupola (6140m)



Delupola (6343m)



Delupola + (6065m)

幻のKone Kangri(コネ・カンリ・6347m)を求めてー4

鋭峰 崗日嘎布(Kangri Karpo・5800m)



カンリ・カルポの標高について私見を付記しておこう。旧ソ連の地図では5442mとなっているが、東の肩から流れ下る氷河の規模、頂稜ピラミッドの大きさ、周囲のピークとの比較において5700 - 5800mはあろうと推定するので、私の地図にはca. 5800mと記載した。カンリ・カルポ直下近くの3660m地点まで谷の左岸を登り、西から東への展望を期待する。結果は、コムツォ氷河の下部は見たが、コネ・カンリは現れなかった。今回も幻の山で終わってしまった。



5682m峰 波蜜より北西面

5732m+6045m
波蜜より北面



2009.11.08
帕隆蔵布 (Parlung Zangbo)
沿いに波蜜 (Bomi)へ



北西面



5448m +5841m 西面

5500m 南面





樹葬の寺

樹葬は鳥葬や水葬にできない
幼児か7 - 8歳以下の子供の
埋葬の方法である。



チベット高原南東の林芝地区を含む森林帯で行われている習慣で土地の人は樹葬にすることにより靈魂は長く生き続けると信じている。



11月9日 晴 3
波蜜 - 嘎瓦龍3800m
- 卓龍沟(樹葬)3320m
- 波蜜





Dojiza 6240m東面 波蜜より西北方

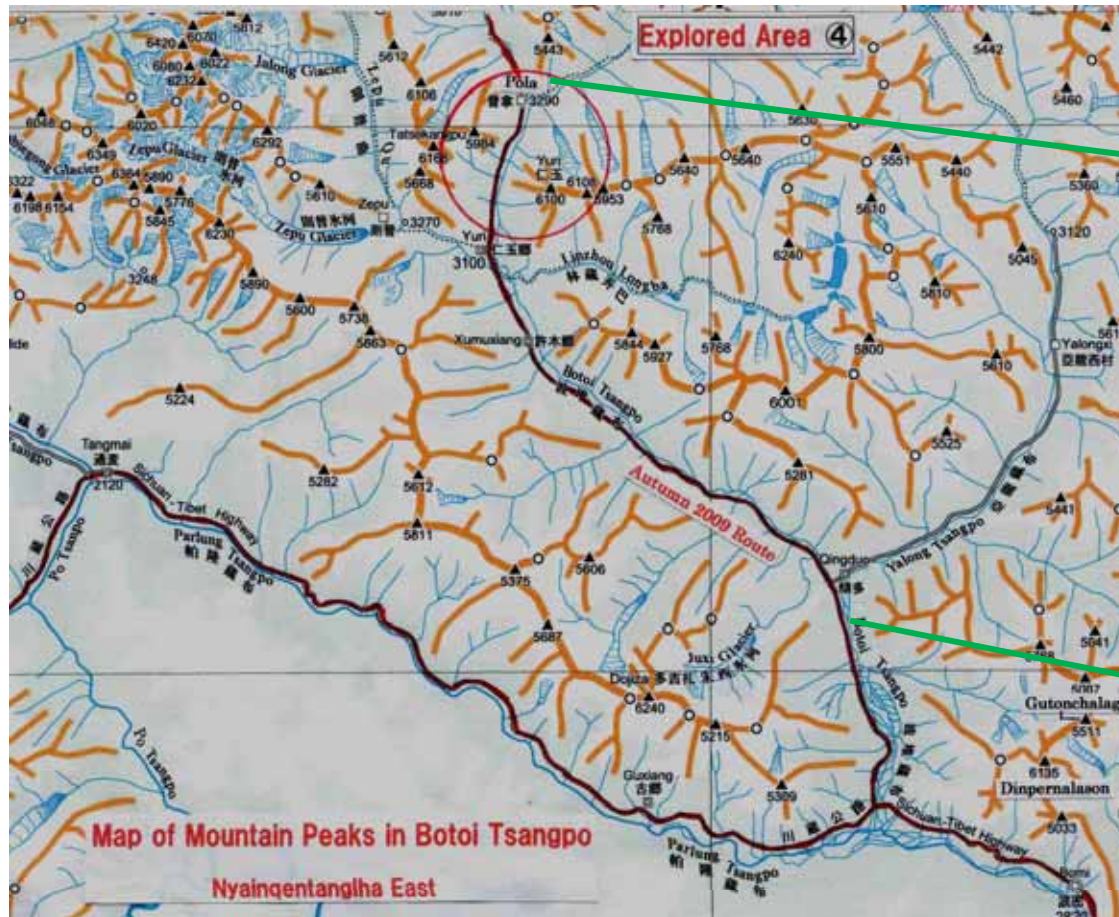


Dinpermalason 6135m
南面 波蜜より北

普拿 (Pola) より辺覇 (Banbar)、洛隆 (Lhorong · 3680m) へのルートを訪ねて-1

11月10日 曇後晴 3 波蜜 - 玉仁郷3100m - 3600m地点往復 - 普拿3430m

普拿 (Pola) 村



波堆蔵布(Botoi Tsangpo)の谷と傾多の分岐





Dinpernalason・6135m



Gutonchalancebo・5511m

波蜜の直ぐ北側に聳える秀峰ディンペルナラソン6135mと異形のピーク、グトンチャラゲボ5511mの西面をクリアーな写真に撮れたのはめったにないチャンスだった。

普拿 (Pola) より辺覇 (Banbar)、洛隆 (Lhorong · 3680m) へのルートを訪ねて-2 玉仁 峰南面

11月11日 曇後晴 0 普拿 - 玉仁郷 - 波蜜



普拿 (Pola) より玉仁 (Yuri) 北面
(右 · 6100m) + (6108m)

玉仁 峰北面



玉仁 峰南面





玉仁 峰北面



玉仁 峰南面



村人の話では、普拿から北に向かう道は三つあると言う。洛隆県へは、東の谷からアオ・ラを越える道と西の谷のル・ラを越える二つのルートがある。辺覇県へは西の谷のドン・ラを越えて通じている。いずれも馬で二日の行程である。



南迦巴瓦峰 (Namcha Barwa・7782m) セチラ峠より

五体投地でラサへ

